

## 軽度・中等度難聴児 FM補聴器補助

落合 信太郎 議員

**問** 障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児の保護者に対して、補聴器購入に要する経費の一部を助成する制度が、昨年10月からスタートした。その制度の効果と実績について伺う。

**市長** 発達に課題や障害のある子どもたちへの支援に、力を注いでいる。この助成により、言語の習得、社会性の発達支援、保護者負担の軽減が図られている。

**福祉部長** 27年度は2人から申請があった。28年度も既に2人から申請がある。

**問** この制度には1点物足りないところがあった。FM補聴器を使用している児童・生徒がいるが、この機器は十数万円もする高額なものである。公明党として、これも助成対象とするよう要望したところ、藤井市長の速やかな対応により、今定例会に早速、補正予算が計上された。茨城県で初めての制度でもあり、その経緯を伺う。

**答** FM補聴器は、県と市、いずれの助成からも外れていた。大変有効な機器であるため、早急に対応した。

## お休み処に子育て機能

飯島 悠介 議員

**問** 地域で生きがいづくりを専門的に取り組みを行い、生きがいづくり事業を包括的に網羅する担当課は現在あるのか。

**市長** 市だけでなく、市民の皆さんが行われているものや社会福祉協議会での事業もあり、窓口の一本化は難しいもの。よく連携してやっていきたい。

**問** 婦人学級や高齢者クラブと子育て世代が交流できる公民館事業の実施を。教育部長 考える時期と思っている。

**問** お休み処を、戸頭、井野以外の場所にも設置を。福祉部長 地域住民の自

主的ボランティア団体によって運営されるもの。ボランティアが立ち上げれば支援していく。

**問** 放課後子どもクラブの休日開所など、子育て世代を支えることが求められている。お休み処に子育て支



井野団地内にあるお休み処「いこいの+ Tappino」

**援機能を。**  
**答** 子どもの放課後の居場所としては考えていない。現在、夏休みに小学生のボランティア受け入れを行ったり、芸術作品展示などによって、さまざまな人と交流している。

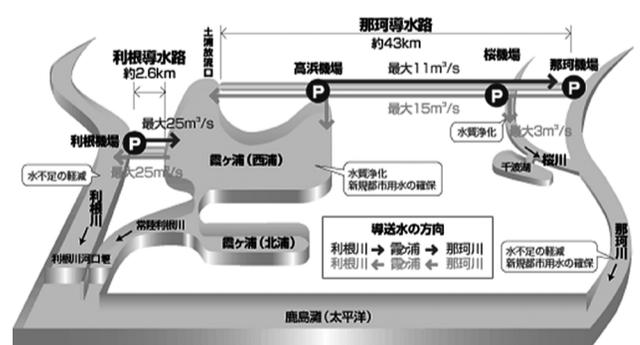
## 撤退を求めよ！ 霞ヶ浦導水事業

関戸 勇 議員

**問** 霞ヶ浦導水事業の完成年度は2023年に延期され、当初の計画から31年も延期した。この事業は水源の確保や霞ヶ浦の水質改善を目的としているが、水質は改善傾向にあり、保有水量は余剰している状況。今後、給水人口が減少し、大手の市内工場は地下水を使用している中で、水道料金等の市民負担が増える水源開発はすべきでない。事業からの撤退を求めざるべきではないか。

**市長** ほとんどの給水対象市町村や県南水道企業団で新たな水の確保は必要ないと回答している。しかし、必要な手続きを取り、進められてきた事業に対し、取手市が率先して撤退を求めることではなく、国の事業として様子を見守っていきたい。また、今後の中長期的な水資源の確保についても推移を見ていきたい。

## 霞ヶ浦導水事業のイメージ図



出典：国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦導水工事事務所ホームページ (<http://www.ktr.mlit.go.jp/dousui/index0001.htm>)

## 改修予定は？ とがしら公園

入江 洋一 議員

**問** とがしら公園は昨年度のテニススコートの改修や幼児用の複合遊具の新設など、明るくなり、子育て支援も進めていることを確認した。しかし、トイレに清潔感がなく、障がい者用や男女の区別もない。時流にマッチしたトイレではない。市政協力員からも要望が上がっているが、今後の改修の予定はどうなっているか。

**建設部長** とがしら公園のトイレは築38年経過しており、改修の必要性を認識している。今年度は都市公園



とがしら公園の平成27年度に設置された遊具(左)と、昭和53年に設置された屋外トイレ(右)

施設長寿命化計画を策定し、その中にとがしら公園のトイレ改修を含める予定で、優先順位も高くなると考えている。

**問** 小学生が遊ぶような児童向けの遊具が少ないが、追加の予定は。追加の予定は。水とみどりの課長 設置する方向で検討していく。